

平成26年度病虫害発生予察予報第10号（1月）

平成27年1月7日
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量
抑制、促成キュウリ	べと病 うどんこ病 褐斑病 黄化えそ病 ミナミキイロアザミウマ ハスモンヨトウ	やや多 平年並 多 やや少 平年並 少
促成ナス	うどんこ病 黒枯病 すすかび病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ ホコリダニ類	多 やや多 並～やや多 少 多 平年並～やや多
促成ピーマン、シシトウ	うどんこ病 斑点病 黒枯病 モザイク病 ハスモンヨトウ ミナミキイロアザミウマ ヒラズハナアザミウマ タバココナジラミ	平年並 多 平年並～やや多 やや多 少 少～やや少 平年並 平年並
促成トマト	すすかび病 うどんこ病 タバココナジラミ ハスモンヨトウ	多 多 やや少 少

I 気象予報（高松地方気象台 1 月 1 日発表）

＜予想される向こう 1 か月の天候＞ 1 月 3 日から 2 月 2 日

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 か月の降水量は平年並または多い確率ともに 40% です。

週別の気温は、1 週目は平年並の確率 50% です。

＜向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）＞

期間	対象地域	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
1 ヶ月	四国地方	気温	30	40	30
		降水量	20	40	40
		日照時間	40	30	30

＜気温経過の各階級の確率（%）＞

期間	対象地域	低い	平年並	高い
1 週目	四国地方	20	50	30
2 週目		40	30	30
3～4 週目		40	30	30

＜予報の対象期間＞

1 ヶ月：1 月 3 日（土）～ 2 月 2 日（日）

1 週目：1 月 3 日（土）～ 1 月 9 日（金）

2 週目：1 月 10 日（土）～ 1 月 16 日（金）

3～4 週目：1 月 17 日（土）～ 1 月 30 日（金）

II 病虫害発生予想

1 抑制、促成キュウリの病虫害

1) ベと病

予 想 発生時期：平年並／発生量：やや多

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。いずれの地域でも平年並の発生であったが、県中央部では発病程度の高いほ場も見られた。

(2) 向こう 1 か月の気象予報では降水量が多めと予想されていることから、やや多めの発生になると考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

2) うどんこ病

予 想 発生時期：平年並／発生量：平年並

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中西部、西部では発生面積は少なく、発病程度の高いほ場も見られなかったが、県中央部では平年より、やや多めの発

生で有り、発病程度の高いほ場も見られた。

- (2)向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されていることから、先月と同様の傾向で推移すると考えられる。

対 策

- (1)他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。ガッテン乳剤、プロパティフロアブルを使用した場合、菌叢の褐変、消失は見られないので防除効果は上位葉への進展など、未発生葉への進展状況で判断する。

3) 褐斑病

予 想 発生時期：平年並／発生量：多

根 拠

- (1)巡回調査では県中西部、西部で発生が見られ、発生面積、程度とも平年より多めの発生であった。
- (2)向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されている。本病の発病条件は高温、多湿であるため、微増傾向になると考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

4) 黄化えそ病

予 想 発生時期：平年並／発生量：やや少

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られたが、平年に比べ少なめの発生となっている。
- (2)本病の媒介虫であるミナミキイロアザミウマは、県中央部では多めの発生となっているが、県中西部、西部では少発生である。

対 策

- (1)ミナミキイロアザミウマの防除を低密度時に徹底する。また、本病の発生株は早期に除去し、埋設するなどの処分を行う。

5) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生時期：平年並／発生量：平年並

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中西部、西部では少発生であったが、県中央部ではやや多めの発生であった。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるため、低密度時（発生初期は生長点付近に多い）の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

6) ハスモンヨトウ

予 想 発生時期：平年並／発生量：少

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で少発生であった。

(2)気温の低下とともにハウス内での増殖速度は衰えるため、先月同様、少発生で推移すると考えられる。

対 策

(1)ハスモンヨトウは葉に卵塊を産みつけるので、卵塊を確認したら速やかに除去する。

2 促成ナスの病害虫

1) うどんこ病

予 想 発生時期：平年並／発生量：多

根 拠

(1)巡回調査では県東部、県中央部で発生が見られた。県東部では先月同様、多発生であるが発生面積は減少した。

(2)向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、大幅な病勢の進展は見られないと考えられる。

対 策

(1)他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

2) 黒枯病

予 想 発生時期：平年並／発生量：やや多

根 拠

(1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。県東部ではやや多め、県中央部では多発生、県西部では平年並の発生であり、いずれの地域でも発病程度は高かった。

(2)向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、多発傾向が続くと考えられる。

対 策

(1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底する。

(2)罹病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) すすかび病

予 想 発生時期：平年並／発生量：並～やや多

根 拠

(1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。県東部では少発生であったが、県中央部、西部では平年並～やや多めの発生であり、発病程度は平年より高かった。

(2)向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、病勢が進展すると考えられる。

対 策

(1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底する。

(2)罹病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

4) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生時期：平年並／発生量：少

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で見られたが、発生量の多いほ場は見られなかった。
- (2)気温低下にともない増殖が緩慢になるため、大幅な密度増加はなく、平年並の発生が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。

5) タバココナジラミ

予 想 発生時期：平年並／発生量：多

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。県東部、中央部では多発生であったが、発生程度が高いほ場は無く、すす病の発生も見られなかった。
- (2)気温の低下にともない増殖が緩慢になるが、多発傾向が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。

6) ホコリダニ類

予 想 発生時期：平年並／発生量：平年並～やや多

根 拠

- (1)巡回調査では県東部では多発生であったが、県中央部、西部では少～平年並の発生であった。
- (2)天敵、農薬による防除が困難な害虫のため、平年並～やや多めの発生になると考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底する。
- (2)薬剤防除を行う場合、生長点付近を中心にたっぷりと薬剤散布を行う。また、発生株だけでなく、周辺の株も防除を行う。

3 促成ピーマン、シシトウの病害虫

1) うどんこ病

予 想 発生時期：平年並／発生量：平年並

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。県東部、中央部、中西部とも発生面積は平年並であったが、発病程度の高いほ場が見られた。
- (2)向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、病勢の進展は少ないと考えられる。

対 策

- (1)他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

2) 斑点病

予 想 発生時期：平年並／発生量：多

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で多発生で発病程度も高かったが、落葉などの被害は見られなかった。

(2) 向こう 1 か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、多めの発生が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、ハウス内湿度の低下に努める。

(2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) 黒枯病

予 想 発生時期：平年並／発生量：平年並～やや多

根 拠

(1) 巡回調査では県東部で多発生、中央部で平年並、中西部では少発生であった。

(2) 向こう 1 か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、ハウス内湿度の低下に努める。

(2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

4) モザイク病

予 想 発生時期：平年並／発生量：やや多

根 拠

(1) 県東部、中西部では少発生だが県中央部では多発生となっている。

(2) 現在、アブラムシ類の発生も多めとなっているため、多めの発生が続くと考えられる。

対 策

(1) 媒介虫であるアブラムシ類のうち、施設ピーマン類に発生する主なアブラムシはモモアカアブラムシ、ワタアブラムシである。モモアカアブラムシは生長点付近に発生するが、ワタアブラムシは下位葉で発生するので注意する。

(2) 罹病株は速やかに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

5) ハスモンヨトウ

予 想 発生時期：平年並／発生量：少

根 拠

(1) 巡回調査では、県東部、中央部、中西部とも少発生であった。

(2) 気温の低下とともにハウス内での増殖速度は衰えるため、少発生で推移すると考えられる。

対 策

(1) ハスモンヨトウは葉に卵塊を産みつけるので、卵塊を確認したら速やかに除去する。

6) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生時期：平年並／発生量：少～やや少

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で見られたが、県東部、県中央部、中西部とも少～やや少発生であった。

(2) 気温低下にともない増殖が緩慢になるため、平年より少なめの発生が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。

7) ヒラズハナアザミウマ

予 想 発生時期：平年並／発生量：平年並

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で見られた。県中央部では寄生密度が高いほ場も見られたが実被害は発生していない。

(2) 気温低下にともない増殖が緩慢になるため、平年並の発生が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。

8) タバココナジラミ

予 想 発生時期：平年並／発生量：平年並

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で見られたが、密度の高いほ場は見られなかった。

(2) 気温の低下にともない増殖が緩慢になるため、平年並の発生が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。

(2) 本虫の天敵として導入されているスワルスキーカブリダニは乾燥に弱い。ほ場内で乾燥しやすい場所は多発生となる可能性があるので注意する。

4 促成トマトの病害虫

1) すすかび病

予 想 発生時期：平年並／発生量：多

根 拠

(1) 巡回調査では一部のほ場で発生が見られた。平年より多めの発生であったが、下葉中心の発生であった。

(2) 向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、多発傾向が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。また、本病は葉かび病に酷似するので、防除薬剤の選定に注意する。

2) うどんこ病

予 想 発生時期：平年並／発生量：多

根 拠

(1) 巡回調査では一部のほ場で発生が見られた。平年より多めの発生であったが、下葉中心の発生であった。

(2) 向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、病勢の進展は少ないと考えられる。

対 策

(1)多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。また、本病は葉かび病に酷似するので、防除薬剤の選定に注意する。

3) タバココナジラミ

予想 発生時期：平年並／発生量：少

根拠

- (1)巡回調査では一部のは場で発生が見られたが、寄生株率は低かった。
- (2)気温の低下にともない増殖が緩慢になるため、少発生が続くと考えられる。

対策

- (1)本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。また、黄化葉巻病を媒介するので注意する。

4) ハスモンヨトウ

予想 発生時期：平年並／発生量：少

根拠

- (1)巡回調査では発生が見られなかった。

対策

- (1)ハスモンヨトウは葉に卵塊を産みつけるので、卵塊を確認したら速やかに除去する。

農作物の病害虫防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

病害虫防除所ホームページ（こうち農業ネット）

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>

- ①病害虫発生予察月報、病害虫発生予察予報
- ②病害虫発生予察注意報、病害虫発生予察警報、病害虫発生予察特殊報
- ③病害虫発生予察技術資料
- ④新しく問題となっている病害虫 etc.

こうち農業ネットサービス※

- ・携帯電話を使った病害虫関連情報（どなたでも利用可能です）

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/i/info>（Iモード）

トップメニュー→地域情報→タウンガイド・行政→高知県庁メニュー→農業情報（ezweb）

四国メニュー→タウン情報・行政→高知県庁メニュー→農業情報：(ヤフー)

- ①病害虫発生予察情報（概要）

※ 閲覧は無料ですが通信料は別途必要となります